

『2011 みんなで夏旅行 in 那須』ご報告

8月7～9日、栃木県那珂川苑に宿泊(貸切)で行って来ました。今年は震災の影響で一時実施も危ぶまれましたが、昨年とほぼ同数の23家族と学生ボラさん方、看護師さんの総勢64名が参加。貸切バス2台で実施できました。震災支援の一環として福島県自閉症協会を通じて福島からの参加ご希望者を募り3家族が参加され、一緒に楽しんでもらうこともできました。

1日目・・・千本松牧場(西那須野塩原 IC そば・ジンギスカン食べ放題の昼食)

2日目・・・那須野が原公園ファミリープール

3日目・・・わくわくグランディ科学ランド(宇都宮市)

夜は毎回同行してくれている日大るびなすの学生ボランティアさん方の企画による花火大会、レクレーション大会、カラオケ大会などでたっぷり楽しみ、親たちだけの話し合いや宇都宮大学の長谷川万由美先生を講師にお招きして震災被災地での取組の話を伺うなど。初参加された方々や学生ボラさん方を中心に出してもらった感想を掲載します。(平位 真二)

私ども福島県の者にまでお声をかけていただき誠にありがとうございました。行先はどこも素晴らしい所でしたが、そのうちで息子がことのほか喜んだのは那須野が原公園のファミリープールでした。今年は原発事故のため放射線量の問題で福島市内の屋外プールは全面閉園となりプールに入れなかったため、この度プールに入れたことをとても喜び、流れるプールでボラさんとゆっくりゆっくり歩いていました。おかげで顔から体中真っ赤に日焼けし嬉しいことでした。

息子が「みんな優しかったねー。また参加したいな」と帰りの駅で申ししていました。福島県は原発問題がいまだ解決の方向性が見えないですが、なんとなく希望が見えてきたような気がしたこの三日間でした。

十分な学生さんたちのケアで親はゆっくりできました。日程もあまり急がずよかったです。

ボラさんの協力が手厚く驚いた。子どもの、家ではわからない面が見えた。



担当をさせていただいたT君は言語はあまり話さず文字を書いて表現をしようとする子で最後に紙に「嬉しかった、楽しかった、面白かった、ありがとう、また来年」などを書いてくれたりなど、普段もお礼を求めているわけではありませんがこれほど嬉しい事はないな、と思いました(学生ボラさん1年)

初参加で案の定、誰よりも泣いて暴れて大騒ぎしてしまいましたが、1日目より2日目、2日目より3日目とだんだんと周りが見えてきて落ち着いてきていたのを感じました。やはり経験することが親子共々大事だと感じました。経験豊かな参加者さんが多く、学生ボラさん、皆さんのおかげで我が家だけではとてもこなせないようなスケジュールをすべて経験できました。助けてもらえる環境って本当にいいなと感じました。どのような場面でもボラさんに熱心にとことん付き合ってもらいました。お風呂やトイレ、寝かしつけもお願いでき、本当に助かりました。

今回は福島のご家族を迎えてとのことで、参加された家族の方が少しでも楽になれる瞬間があったらばと思いました。初日の反省会で学生から意見があったように、私達は子どもたちの長い夏休暇の中でこの3日間だけでも親の方が気を抜いて休めるよう、そしてそういった信頼をしていただけるよう活動しています。この余暇活動が成功したのもメンバーさんのご協力あってこそです。これからもこの会が続きますよう願っております!(学生ボラさん4年)

学生一丸となって準備してきたレクや劇を楽しんでくれている参加者さんを見ていたら堪らない達成感が沸き起こり、是非また来年も参加したいと思えました(学生ボラさん1年)